



# 学校だより 8月・9月

令和元年8月27日 横浜市立芹が谷南小学校

## 夏休み中の充電をパワーに

学校長 高木 篤子



来年の今頃は、オリンピック開催に続き、パラリンピックが行われているのだと、会場の盛り上がりを想像しながら心の中に歓声を響かせています。

教室では、子どもたちが夏休みに楽しんだことやがんばったことなどを話しています。職員室では、「リフレッシュできましたか?」と声をかけたり、夏休み中の研修の話をしたりしています。職員それぞれが担当やキャリア等に応じて研修を受けるのですが、その中で、今年度、民間企業研修の機会を得た二人に感想を聞いてみましょう。

Q: 池田教諭は、8月上旬にエネルギー関連のシステムを提供する会社に出張し、2日間、研修を受けました。どのような体験をして学びを得ることができましたか。

A: 事業所内を見学して、タービンや発電機などの製造工程や、エネルギーの仕組みと活用について教えていただきました。デザイン思考では、「現状をよりよい状態へ変えることを目的に、行動・方針を考えること」という考え方を聞いた上でワークショップを行い、専門性を越えて協働することの大切さを体験的に学びました。目指すところをビジョンとして定め、全員一丸となって共有し、実践していく大切さを教育の現場でも実行していきたいと強く感じました。

Q: 正木副校長は、8月下旬に食品製造販売や飲食店経営を行う会社に出張し、3日間、研修を受けました。研修から学んだことの中で、特に心に残ったことはありますか。

A: 食品の製造販売を通して、お客様が楽しい団らの時間を過ごしたり、食が思い出に残ったりするなどお客様の心が満たされることを大切にされていました。そのために、製造は常に衛生や安全に気をつけ、材料を厳選しておいしいものを作る努力をし、販売は対面式で売ることによってお客様の声を反映する仕組みが作られていました。商品売って終わりではなく、販売後のお客様を思いやるものづくりからは、働くことの意義をあらためて思い起こさせてくださいました。

このほかにも、全教員が各教科等の市教育課程研究協議会に参加し、新学習指導要領改定のポイントや授業改善について理解を深めました。校内研修や小中学校合同研修も行いました。

子どもたちも、夏休みならではの体験や学びがたくさんあったことと思います。作品や自由研究からも、体験の楽しさや学びのよさが伝わってきます。

それぞれがこの夏休みに充電したものを意欲につなげ、これからの学校生活で心のパワーを生かして生き生きと活動していきましょう。